

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2010
10 | No. 77
October



教育学部誕生

- ◎ 中村学園田島グラウンド ついにオープン!
- ◎ 中村学園女子高等学校創立50周年 新校舎オープン



やってみないと
わからん

(青峰先生の口癖)

栄養科学部栄養科学科
青峰ゼミ

4年生 15人

教授

青峰 正裕先生

先生は優しい。フレンドリー /



Vol. 19

WAGAZEMI...

Welcome to Our Seminar

わがゼミ案内



自由と自主性を重んじ、独立心を身につける

4年次から1年間にわたって開催される青峰ゼミでは、5つのグループに分かれ、栄養生理学の研究を行います。各グループで研究テーマを決めるなど自主性を重んじたゼミです。

ダンディな風貌で穏かな口調。「一見怖そうに見えるけどやさしい」という学生の声も圧倒的に多く、絶大な人気を集める青峰教授ゼミ希望の学生も多く、最後はジャンケンで勝ち抜いた15名の学生が学んでいます。

青峰ゼミでは栄養生理学を研究しています。特に、栄養と脳機能との関連、糖尿病と脳機能の関連、食事因子による冷え性の改善、香料の生理機能、ストレスと脳機能などを中心にした研究が行われています。

青峰教授のモットーは、「自由」と「自主性」。研究を始める前に、学生たちは何をやりたいのかを話し合い、研究内容と大まかなスケジュールを決めました。あくまで学生たちが主体で、先生は必要所で面談を行い、学生の計画が実現可能かをチェックし、より効果的で実行しやすい実験ができるよう助言を行います。「このゼミを通して、管理栄養士を目指す学生たちに、患者さんを生理学的に見る視点を身につけてほしい」と青峰先生。

現在、ゼミ生は5つのグループに分かれて研究を行っています。冷え性と食べ物との関連を調べているグループは2つあり、その

対象はハムとかまぼこ（たんぱく質、もうひとグループがドライフルーツ）。こうした食物を健康者と冷え性の方に実際に食べてもらい、食べてから30分後まで5分刻みで、足、指の末端をはじめ各種部位の温度変化を見ていきます。

運動と冷え症について研究するグループもあります。運動前後の体温、血圧の変化を調べ、運動がもたらす影響を数値化しています。残り2グループは、ラットを用いた研究を行っています。アルツハイマーの改善について研究するグループでは、神経伝達物質を遮断するスコポラミンという試薬をラットに投与して、その行動を調査しています。ストレスと食べ物との関係性を調べるグループでは、血糖値が上がりやすいものと上がりにくいさつまいものペーストを与え、運動量の違いを調べています。

学生たちは、こうした地道な実験結果をデータ化して推論し、12月いっぱいまでに卒業論文としてまとめ、提出するのです。

「学生たちには、自分がやったことに責任をもつ独立心を養ってもらえればと思います。社会に出たら全てが自分の責任です。おんぶにだっこの決まっています。大学を卒業してすぐに使える人材になるように、指示待ち人間では困るのです」

学生たちは、率先して研究を行うことで、社会人として最も重要である自主性と責任感を身につけてくれるに違いありません。



CONTENTS

01

わがゼミ案内
栄養科学部栄養科学科
青峰正裕ゼミ

03 教育学部誕生

05 完全復元伊能図全国巡回フロア展

06 中村学園田島グラウンド
ついにオープン！

07 中村学園女子高等学校創立50周年
新校舎オープン

08 中村学園三陽中学校 ガンバリ評価入試
栄養科学部 GP採択

09 流通科学部 スカラシップ留学報告

10 「在学生のページ」
サークル紹介
創造部

11 「卒業生のページ」
卒業生インタビュー
就職課コラム

12 日本型薬膳を世界に向けて
三成由美教授

13 EVENT & NEWS
・学内の行事
・教員表彰
・研究助成・受託研究採択
・教職員への動き

16

付属幼稚園だより

建学の精神のもと学問に励み、 未来の子どもたちの よき指導者に育ってほしい。

2011年4月、人間発達学部は教育学部に生まれ変わります。

新しい教育学部は、今までとはどんなところが変わったのでしょうか。

現在の学部長であり、4月から教育学部長に就任される福田伸光教授に、お話を伺いました。

新たに特別支援学校教諭の 免許取得にも対応

今まで優秀な教育者や保育者を多数輩出してきた人間発達学部ですが、来年4月から教育学部に生まれ変わります。従来の人間発達学部は、一般的にどのような学部なのか理解されにくい面がありました。幼児・児童教育に就く学生も多く、福岡県では知名度も高いのですが、例えば県外で教育者を目指す高校生や世間一般の方々にも、教育

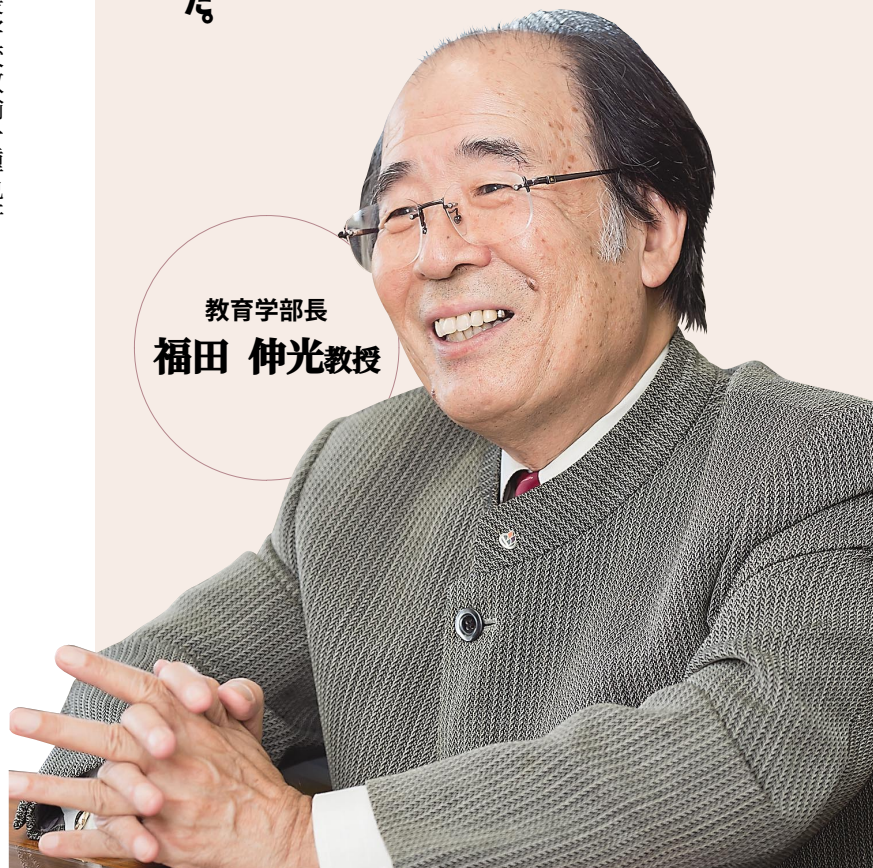
学部は理解していただきやすい学部名ではないでしょうか。

また、人間発達学部では、幼稚園教諭一種免許と保育士資格が取得できる幼児発達学と、小学校教諭一種免許と幼稚園教諭一種免許が取得できる児童発達学との2つの専攻に分かれていたのですが、これを一本化します。今までは入学した時点で専攻が決まり、途中変更ができなかったのを、入学してから自分の意思で取得したい免許の授業を選ぶことができるので、選択の幅が広がります。

さらに、特別支援学校教諭一種免許を取得できるようになることも大きな特徴です。当学部で取得可能な小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、特別支援学校教諭一種免許のうち、3つまでは学生の努力次第で取得することができるのです。もちろん、大変な努力は必要ですが、教育者を目指す学生にとっては、大きなチャンスになることでしょう。



教育学部長
福田 伸光教授



仲間同士で励まし合って、 教員採用試験に取り組む 学生たち

中村学園大学の学生たちは、挨拶をよくし、明るくて、実に真面目です。教員採用試験を目指す学生たちは、グループを組み、励まし合い、支え合いながら一生懸命勉強をしています。もちろん、学部としても学生たちの努力をできる限りサポートしています。

小学校教員採用試験合格者は、年々増えており、平成22年には現役合格者37名と飛躍的に増加しました。

また、幼稚園や保育所等への就職については、安定的に高い就職率を誇っています。

世の中では痛ましい事故、事件が数多く起っています。このような時代だからこそ、ますます幼児期からの教育が重要になっていくはずです。大学でよい教育をして、よい人材を世に送り出し、よい教育者となり未来の子どもたちを育んでくれる。そう信じています。

建学の精神のもとに学び、 人間的な基礎を しっかりと固めてほしい

中村学園大学らしい教育の特徴は、建学の精神に表れています。この精神とは、日本人としての自覚を持ち、「清節の風をたつとび、感恩の情にとみ、労作をいそしむ」人格の形成に努めることです。

人間教育の基本は、清節（志を清く守って曲げないこと）、感恩（他人からの恩を感じてすべてに感謝する心）、労作（労をいとわず、懸命に努力する）の3つ。この3つは、生きていく上で最も大切な言葉だと思います。

その基本を念頭に置いて、常に正直で誠実でありながら、学問や物事に対して謙虚な姿勢を持ちつつ、中村学園大学で多くのことを学んでほしい。本学で学んだ学生が社会人になり、厳しい教育現場に立ち難しい人間関係に悩む時も、柔軟に対応できる基礎をしっかりと持った人間に成長できるように、しっかりと教員ひとりひとりが学生と向き合っていきたいと思っています。

教育方針

●アドミッションポリシー

入学者受け入れに関する方針

求める人材像

- 温かい心と感動する心が豊かな人
- 人の世話を進んでやる人
- 何事にも努力を惜しまず、忍耐力のある人
- 目的意識を持ち、使命感に富む人
- 高等学校で修得した教科すべてにおいて基礎学力があり、知的好奇心が旺盛な人

●カリキュラムポリシー

教育課程に関する方針

「全人的教育」「確かな学力」「観察力と実践力の強化」を教育の3本柱として、教養科目のほかに教育学、心理学、保育・福祉の理論とともに、音楽・美術・体育などの基礎技能、教科教育、指導法、保育内容などを含む演習・実習などを行います。

●ディプロマポリシー

卒業認定・学位授与に関する方針

全員が、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士・特別支援学校教諭の免許・資格取得を目標に、教育者・保育者としての心構え、それに必要な知識・技能ならびに高い教養を十分に身につかせます。卒業要件として所定科目の計124単位以上を修得することが必要です。



教育内容

- 実技を含む専門科目を重視した教育
- 教育現場や施設などでの実習を重視した教育
- 少人数ゼミナールを取り入れた人間教育
- 主体性・協調性・問題解決能力育成を重視した教育



九州初の開催！ 完全復元伊能図 全国巡回フロア展

7月30日(金)
8月1日(日)

平成22年7月30日から8月1日の3日間、中村学園大学の体育館において、完全復元伊能図全国巡回フロア展が開催されました。このフロア展は、福岡県土地家屋調査士会が主催する「土地家屋調査士制度60周年・表示登記制度50周年事業」の一環として開かれたもので、中村学園大学は会場提供などで共催しました。

開会に先立って行われたオープニングセレモニーでは、藤本淳学長が「伊能忠敬が晩年、力を込めて作成した地図です。地図の上を歩きながら彼の偉業を楽しんでください」と挨拶。中村学園大学付属あさひ幼稚園の園児らがテープカットを行い、華々しくフロア展はスタートしました。

縦2メートル、横1メートルのパネル計255枚からなる伊能図は塩化ビニール製で、地図の上を歩きながら閲覧することが出来ます。九州で、伊能図が原寸大で公開されるのは初めてということもあり、会場には家族づれなど3日間で合計3,012名の方々が来場しました。また、テレビ局や新聞社など多数の取材を受け、各メディアで取上げられるなど、関心の高さがうかがえました。

55歳から72歳までの17年をかけて日本全国を回り、正確な地図を作成した伊能忠敬の不撓不屈の精神にふれることができ、来場者はみな満足げな様子でした。



各メディアで
多数とりあげられました！

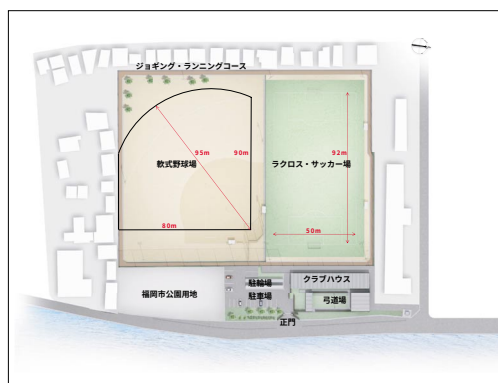
NHK ニュース (平成22年7月30日)
RKB ニュース (平成22年7月30日)
KBC ニュースピア (平成22年7月30日)
TNC ハチナビ (平成22年7月30日)
毎日新聞夕刊1面 (平成22年7月30日)
日本経済新聞夕刊19面 (平成22年7月30日)
西日本新聞朝刊1面 (平成22年7月31日)
読売新聞朝刊35面 (平成22年7月31日)
RKB ラジオスナッピースポット (平成22年8月1日)



中村学園田島グラウンド ついにオープン！

かつての九州大学田島寮跡地に新しく整備を進めていた「中村学園田島グラウンド」がこのたびオープンしました。グラウンドには南側に軟式野球場1面、北側にラクロス兼サッカー場1面、それを取り巻くように500mのジョギング・ランニングコースが設置され、正門近くにはクラブハウスや弓道場も新設されました。

また、中村学園田島グラウンドの大きな特徴としては、大雨時に調整池の役割を果たすことがあげられます。平成21年7月の豪雨で田島地区に多数の浸水被害が出たこともあり、地域住民及び福岡市下水道局から洪水抑制の協力依頼に応える形で、大雨時にはグラウンドに1,000m³の雨水を貯められる構造になっています。



竣工式
平成22年
10月5日

田島校区自治協議会会長の野見山様や、中村理事長、藤本学長ほか関係者が出席し、中村学園田島グラウンドの竣工を祝いました。



**オープニング
セレモニー**
平成22年
10月16日

式典では、藤本学長をはじめ合同学友自治会会長の久富さん（人間発達学部2年）の挨拶や、テープカットが晴れやかに行われました。また、中村理事長から設計施工業者へ感謝状が手渡されました。式典後に開催された記念イベントでは、広々としたグラウンドで合同学友自治会主催のサッカー大会や、チャリティーデング部の応援デモが行われました。



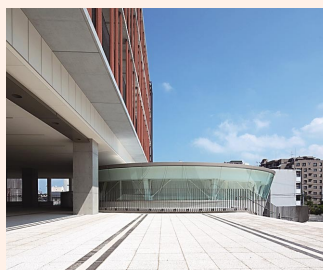
中村理事長による「始球式」

新しき学舎で次なるステージへ

昭和35年、学園祖中村ハル先生が「理想の女子教育を」との思いを込めて設立した中村学園女子高等学校。50周年という節目の年を迎えた平成22年9月、待望の新校舎が完成しました。新校舎において大切にされたのは「中村らしさ」です。人間教育を重視されたハル先生の教育を象徴する講堂と示範室は、生徒の昇降口を挟んで左右に配置され、学校を訪れる人を出迎えます。廊下はゆったりと広く、学校内の各所に緑あふれる広場やベンチが設置されるなど、師弟はもちろん人と人の触れ合いのある、ゆとりの空間が広がります。

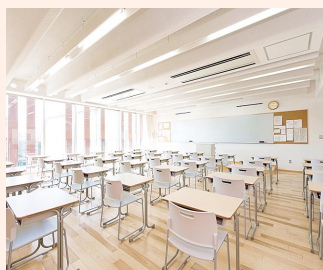
また、太陽光発電システムも取り入れるなど、環境にやさしく、ゆとりと明るさに満ちたキャンパスが完成しました。

9月7日には竣工式を終え、生徒たちは新しい学舎で気分新たに高校生活を始めています。



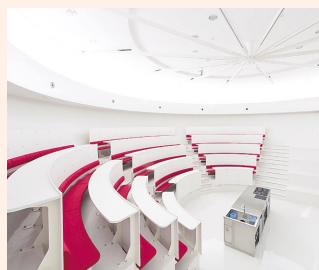
水仙の丘

広々とした憩いの場。学校の中心となるコミュニケーションスペースです。



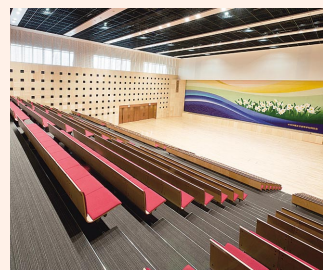
教室

大きな窓から陽光がふり注ぐ明るい教室。チョークの粉が出ないガラス黒板を採用しました。



示範室

調理する先生の手元がよく見えるように配慮された、「食」に力を入れる中村らしい教室。モニターが導入され、より見やすくなりました。調理台にはガスコンロとIHを採用。



講堂

ハル先生が『心を育てる場所』として大切にされた講堂。1680人収容可能な多目的施設として、学校行事や文化的催しに使用されます。水仙をモチーフにした緞帳は同窓会の寄贈。

竣工式(9月7日)



礼法室

日本の伝統文化を学ぶための教室。茶道を通じて日本女性としての心を養います。



アクアリウム

水槽の中に美しい水辺の風景が広がる癒しの空間。みつめる生徒たちのやさしい瞳が印象的です。卒業記念品として設置されました。



カフェテリア

栄養バランスを考えたメニューで生徒の健康をサポート。早朝に登校する生徒のための朝食や、放課後にはスイーツが提供されます。明るい色調のインテリアが生徒に好評です。

ガンバリ 評価入試

みなさん、小学校6年間に一生懸命に頑張ったことが何か一つはあるのではないですか。そのガンバリを評価するのが、このガンバリ評価入試です。「大会で優勝した」「段位を取った」も評価の対象ですが、「試合には負けたが3年間休まず精一杯練習に励んだ」「学校を6年間皆勤した」など様々なガンバリを評価します。
すなわち、テストの成績では評価されない皆さんの輝きを評価する入試です。



中村学園三陽中学校は“私立のふつうの中学校”です！

学力向上を図っていくことはもちろんですが、本校では、主に学力向上に重きを置くいわゆる有名私立中学校とは性格を異にする“私立のふつうの中学校”を目指します。その姿勢のひとつとして、中3で高1の範囲を学習するような先取り学習はしません。その分、本校では、「自然との共存」「三陽でこんなことが出来るようになりました！」をテーマに、職場体験、臨海学校、社会科見学、農作業、ホームステイなど、多くの行事を経験します。

進路選択が、多くの場合学業成績の優劣を基準になされる昨今、本校では、前述のような中学校時の原体験が進路選択の基準となるような教育活動を行っていきます。

三つの
基本

多様な個性の集まり

ガンバリ評価入試

基礎学力の徹底

ドリル学習の導入

生活習慣の確立

学校給食の実施

入試日程

■ A日程【専願入学試験・一般入学試験】

平成23年1月6日(木)

■ B日程【一般入学試験】

平成23年1月22日(土)

中村学園三陽中学校

福岡市西区今宿青木1042-33

TEL 092-882-6611 FAX 092-882-4387

www.nakamura-sanyo.ed.jp

栄養科学部の取り組みが、 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラムに採択

取組名称 患者の行動変容を導く管理栄養士の育成

～付属医療施設「栄養クリニック」での早期臨床体験と模擬患者実習を基盤とした実践教育～

取組期間 平成22年度～24年度（3年間）

栄養科学部の取り組み「患者の行動変容を導く管理栄養士の育成」が、文部科学省平成22年度「大学教育・学生支援推進事業大学教育推進プログラム」に採択されました。この取り組みには今年度より、国から重点的な財政支援が行われます。

取組概要

わが国では依然として、癌、肥満症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病が増加しています。この予防には、各人がライフスタイルに合わせて目標を立て、誤った食習慣や運動不足を改善する行動変容が必要です。これに関して2008年4月より、特定健診・特定保健指導が義務付けられました。しかし、現在までの評価では、この特定保健指導制度は成功していません。つまり、従来のステレオタイプな栄養指導では十分な効果があがらないことが判明しています。そのため、栄養改善の助言を担当する管理栄養士には、より高度な知識とコミュニケーション能力が必要です。

中村学園大学栄養科学部では時代の要求に先んじて、2003年から「ヘルスチェック」として毎年4月に学生全員を対象に、栄養の摂取状況のアンケート調査、身体計測、血液尿検査を行い、学生自らの健康状態の把握と栄養マネジメントを行わせています。この取り組みは、学生自身の健康に対する意識改革と管理栄養士としての動機付けになりましたが、学生の大半は健康人でした。そのため、2007年度からは模擬患者（SP）教育を導入し、医療業務への動機付けを行っています。

今回は、患者や患者予備軍の行動変容を導き出す能力を備えた、特定保健指導に対応できる管理栄養士の養成システムを構築します。すなわち、患者との信頼関係を築くためのコミュニケーション能力、および、患者の抱える問題点を正しく把握するための知識の習得を目標とします。

①コミュニケーション能力の向上のために、SP実習とその事前学習を充実させ、更に、到達度を評価するための客観的臨床能力試験（OSCE）を実施します。

②有病者と実際に接することができるように、付属医療施設として2009年に開業した「栄養クリニック」において、実際の治療に参加し栄養指導と相談を体験させ、臨床への興味と学習の質を向上させます。1年次から早期体験させることにより、臨床科目の学習への動機づけを促します。また、管理栄養士養成施設では通常、附属病院などの学内での実習施設を欠くため、近隣の病院や福祉施設に実習教育を委託しています。この実習先の施設や指導体制には、内容が不均一なため期待する程の効果が上らない場合がありますが、これを是正することにつながります。

③患者の行動変容を誘う栄養指導ツールとして、「グラフ化体重日記」による患者指導法を習得させます。従来からの食品の栄養価の説明やエネルギー制限の口頭での指導だけでは、数か月で乱れた生活習慣に戻ってしまい体重もリバウンドしますが、グラフ化体重日記は現在、行動変容につながる唯一の手段と考えられています。

これらの取り組みは、OSCEのみならず、4年次の臨床総合科目の筆記試験として評価します。長期的には、管理栄養士国家試験の結果、卒業後の進路と栄養関連専門資格の取得状況の調査、および就職後2年目、5年目のアンケート調査によって評価し、教育方法を修正していく予定です。



自分の世界をいっきよに広げた貴重な留学体験。 この体験を活かして、将来は商社か貿易関係で働きたい。

流通科学部3年 馬場 崇平さん

昨年（平成21年）の10月から今年の8月まで、中国人民大学で1年間学んできました。流通科学部の海外留学スカラシップ制度を利用し、語学留学のチャンスに恵まれたのです。

中国は、今一番発展している国。中国語を習得するためと、中国の性質や特徴を感じたくて留学を志願しました。ほとんどの留学生は、9月から授業に参加していたのですが、日本での手続き上、10月からになり、現地に着いてから、大学や病院などあらゆる手続きを自分ひとりでやらなければならぬ状況。留学前に中国語の勉強に力を入れていたものの、まだ日常会話もままならない状態で、身振り手振り、知っている単語を駆使して、何とか手続きを終えることができました。この経験が、自分にとって大きな自信になりました。寮は2人部屋だったのですが、幸い、韓国人のルームメイトが力になってくれて。しかも、彼は26歳で、兵役を終えたばかりの留学生で、毎日ものすごく勉強していました。僕もそれに影響され、半年間は、毎日6時間は語学の勉強に費やしていましたね。1、2月はすごく寒くて、マイナス8度まで気温が下がりました。大多数の留学生は休暇で国に戻ってしまうのですが、彼と一緒にひたすら勉強のおかげで、彼は一番信頼できる友達になりました。今でも連絡を取り合っています。

語言（語学）クラスには、アメリカ、ドイツ、ニュージーランド、オーストラリア、モンゴル、ナイジェリア

など世界中から留学生が集まっています。最初の6か月が過ぎるころには、こうした留学生仲間や現地の中国人の友達もたくさんでき、彼らとは今もメールでよくやりとりしています。

中国人の友達は、愛国心が強く、勉強熱心。将来は起業したり、海外で働きたいという意欲が強く、授業に積極的に参加する。あちこちからいつも質問が飛び交っていましたね。彼らは、自分たちの将来を、すごく楽しみにしていました。また、一度知り合ったら家族のような付き合いになるほど情が厚く、近すぎて嫌になることもありました。中国語を熱心に教えてくれたり、発音を何度もしつこく直されてく。勉強だけでなく、よく声をかけてくれて遊びにも誘ってくれ、楽しい留学生活が送れました。

留学中は、天津、南京、蘇州、上海、杭州、四川などいろいろ旅行にも行きました。蘇州へはひとりで3週間ほど。北京語がなかなか通じず、相手の言葉が聞き取りにくく大変でしたが、いい経験になりました。

日本に戻ってきてからは、話すことより書くことに力を入れて勉強しています。それに加え、正式な場での会話を。将来は、商社や貿易関係の日本の企業に入り、中国で働きたいと思っています。留学を経験し度胸がついたので、これから先、自分がどこまで通用するのか楽しみです。

CLUB & CIRCLE

12月の試合、 一回戦突破を目指して頑張ります。

今年から部に昇格し、ますます気合が入る剣道部。
12月の試合に向けて練習に気合が入ります。



剣道部

部長／古川綾乃(人間発達学部3年生)

部員数／16名

今年から剣道連盟に加入、サークルから部に昇格し、ますます練習に力が入る剣道部。毎週火、水、木、金曜の週4回、17時から19時半まで練習が続き、全員の気合の入った掛け声が練習場に響き渡ります。

「2年生から試合に出たいとの声があがり、剣道部として活動することになりました。1年の時は、サークルだったので週に1度の練習でしたが、2年に入り部に昇格すると週に2度の練習になり、7月からは、週に4度、練習に励んでいます」と話すのは、副キャプテンの林紀子さん(流通科学部2年)。8月29日に念願の全九州学生団体剣道大会の団体戦に出場したものの、男女とも1回戦で敗退。その悔しさをバネに、今までよりも練習をハードにしています。今までは基本練習が多かったのですが、1対1の試合形式で、3、4分戦い、全部員と当たる地稽古を

増やしたそうです。「サークルの時は、週一の練習日でさえ、4、5人しか集まらなかったのですが、今はみんな積極的に練習に取り組んでくれます。剣道は精神面が強くなるので、積極的に人前で話せないような人でも積極的に話せるようになりますよ」と林さん。

今年は、初心者3人新入部員として入りました。「昨年は辞める人がいたのですが、今年は1年生が入ってきてくれて、部がまとまってきました。12月5日には、次の試合があるので、1回戦を突破できるようにメリハリのある練習を心がけています」と話す次期部長の加藤和徳さん(流通科学2年)が練習を引っ張り、ますます活気を帯びる剣道部。12月の試合、ぜひ頑張ってください。



生業卒 インタビュー

人の命を救う仕事を 長く続けるために 日々トレーニング。 ONになった先輩たちのすごさを実感しています

北九州市消防局 島添 昌己さん

平成21年度中村学園大学流通科学部卒業

北九州市消防局に4月入職したばかり。消防士という仕事を選んだのは、人の役に立つ仕事をしたと考えていたから。また、小学生のころから野球を続けてきて、ずっと母親に朝早くから弁当を作ってもらうなど、応援してもらっていたので、その恩返しをしたいたの思いもありました。人命救助に携わる消防士は人に誇れる仕事だし、俊敏さや体力等を要求される仕事だから、体育会系の自分には合うと思っています。

すでに火事や救急の現場には、出勤しました。こわい気持ちもありますが、

目の前に助けることができる命があったら何としてでも助けたい。でも、自分が死んでしまつてははじまらない。毎日訓練して、自分のスキルを磨いていくしかありません。

勤務シフトは3交代制で、8時45分から翌朝9時まで勤務します。1日のほとんどは、ホース延長など、消防の基本訓練に明け暮れています。夜間は仮眠時間もありますが、もちろん、火事や救急、災害等があればいつでも出勤できる態勢です。朝は6時に起きて署内の掃除や車両磨き等を行い、次のチームに万全の申し送りを終えた午前9時に交代です。

休みの間も体を動かすことが多いですね。将来はレスキュー隊に行きたいという目標もあり、ランニングや筋トレを欠かすことはありません。先輩たちを見て感じるのはONとOFFの差の大きさ。命にかかわる仕事だから、ずっと気持ちはONの状態なのかと思っていました。普段のOFF状態が、

必要な時に一挙にONに変わる。すごいと思います。

企業への就職活動はせずに、公務員一本に絞って勉強しました。大学3年から公務員養成の専門学校に通い始めたことで、周囲と目標が一緒だからやる気も出たし、ペースもつかめたことが良かったのだと思います。一次、二次試験、面接等を突破して、8月末に合格通知が届いたときはすごうれしかったです。これだけ勉強したのは初めてというくらい勉強しましたから。

高校時代の野球部では、外野手として甲子園を目指しました。僕は残念ながら県大会のベスト8止まり。大学では軟式野球部に入り、初めて楽しい野球を知りました。こうして野球を続けたことは、社会人となった今、役立っていると思います。人づきあいができるようにになりましたし、上下関係にも慣れていますから。

先輩へのアドバイスは、中途半端にやらないこと。どうせやるなら、ガン

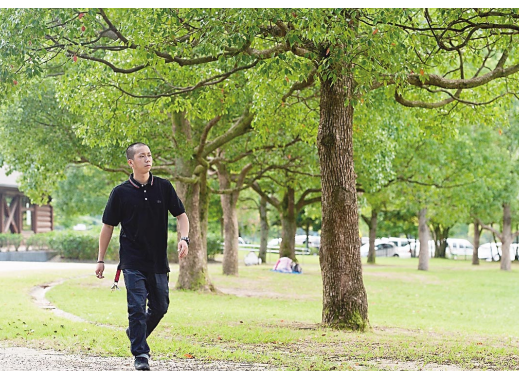
就職課 コラム

みなさん、サッカーW杯における日本代表の活躍は、さぞかし感動したことと思います。私も思わず涙がでるほどでした。なぜみんなあれほど感動したのでしょうか。それは前評判が非常に悪く結果を残せていなかったバラバラのチームが一致団結結束して、格上のチームに組織として挑んだ姿にあると思います。たしかに個人では敵わなくとも、チームとして戦えば結果が残せることを示してくれました。個人がチームのために出来ることを率先して取り組み、試合に出た選手も、ベンチにいる選手も全てが一体となっているのを見ている誰もがよく分かったのではないのでしょうか。

つらいことを個人の問題としてではなく、チームが共有することは、もともと日本人が持っている世界に誇れる能力ではないかと思います。また、そこが前評判が高かったのに予選敗退した、個人主義の進んだ国とは違うところだとも思います。

就職活動で大変なみなさんも、一人で活動しているわけではありません。周りには色々なサポートしてくれるサポーターがいるはずです。友達、家族、先生などへ悩まず相談しましょう。

ガンやった方がいい。やったりやらなかったりする方が、結局きついです。事だと思っています。



日本型薬膳を 世界に向けて

栄養科学部・三成 由美 教授

日本だけでなく韓国も中国でも薬膳ブームが起りつつあるようです。中村学園大学では「薬膳科学研究所」を中心に、地元企業や行政との協力で幅広い研究を行ってきました。昨年11月には中国で、今年6月には韓国で行われた薬膳関連の学会で講演し、ヨーロッパでも薬膳を広めつつある三成由美教授にお話を伺いました。

「薬膳EXPO 2006」から すべては始まった

6月17日に、韓国の明知大学校で開催された「2010年 韓・日 学術交流 薬膳セミナー」に参加して、「日本型薬膳と食育」というテーマで講演を行いました。この中で、私は一汁三菜の伝統食を基本とした「日本型薬膳」を定義し、続いて、中医学からみた便秘について解説し、排便から食育を考えることの大切さを提言しています。

今回の参加のきっかけは、中村学園



大学が開催した「薬膳EXPO 2006」。福岡市の協力で、日本で初めて大学が開催したエキスポで、薬膳をテーマとした日中韓の国際シンポジウムを開催したことにありました。このとき、以前から学術交流を進めてきた中国・上海中医薬大学と韓国・明知大学校にご参加いただいたのです。

昨年11月に中国・上海で開催された「2009上海中医薬国際フォーラム」も同様です。中国側からの依頼を受けて、本学の薬膳科学研究所の内山文昭所長、吉岡慶子栄養科学部長、客員研究員で産業医科大の徳井教孝副教授と私の4名が上海に赴き、「中医薬膳と健康産業の発展」のテーマで分科

会を行ったのです。

本学の薬膳科学研究所は「食と健康」に関する薬膳の総合的な学問体系を構築し、新しい研究領域を創造し、その成果を社会に還元すること」を目的に設立された研究機関で、分子栄養学、栄養疫学、生体応答、開発・教育の4部門で研究が行われています。上記の4名は各部門の責任者でもあります。

地域だけでなく、世界へ 日本型薬膳を発信したい

今までの薬膳研究は「シンクグローバル」、アクトローカリー」。グローバルに考え、活動は九州各地の行政や企業への協力など、地域を中心に成果を出しています。今後はより活動の幅を広げ、研究・教育を通して世界の人々と共感したいですね。これからは「シンクグローバル」、アクトグローバル」。実は、すでに世界に活動を広げる機会は広がっています。

私は、アジアだけでなくヨーロッパにも目を向けるようになりました。叔母がヴァチカンに奉職しているため、2年に一度はヴァチカンを訪ね、イタリア修道院の食事や地中海式ダイエツトに注目してきました。

それから、トヨタ生協の専務理事の金井様より依頼をうけ、共同研究者の

徳井先生と5年前からトヨタ九州、2007年はイタリアトヨタ、2010年はチェコ共和国のトヨタへと訪問し日本型薬膳を取り入れた働く人の健康管理システムや、健康増進のためのメニュー開発など栄養指導の支援をしています。

トヨタ生協はトヨタ自動車(株)の国内、海外の病院や職域レストランの栄養指導事業を担当され、現在、本学の卒業生15名が管理栄養士として活躍しています。

日本から世界へとグローバルに活躍していく学生たちには、科学の考え方を基本とした調理が実践でき、日本の食文化にも造詣が深く総合的な栄養管理能力と専門性の高い実践力のある管理栄養士になってほしいですね。

そして、学園中村ハル先生の食と健康に関するスピリットもしっかり伝えていきたいです。



チェコ共和国のトヨタ自動車(株)合併会社にて

日本調理科学会 開催

平成22年8月27・28日の両日、中村学園大学で、吉岡慶子教授を実行委員長として、日本調理科学会平成22年度大会が開催されました。各会場では口頭発表やポスターセッション計222題の研究発表、うま味インフォメーションセンター及び薬膳科学研究所による特別展示などが行われました。

また、公開学術講演会が「21世紀における食のあり方―継ぐ・創る・育む―」



朱 根勝氏



曹 貞淳氏



坂本元子氏



国武豊喜氏

プログラム

公開学術講演会 「21世紀における食のあり方―継ぐ・創る・育む―」

日時：8月27日(金) 14:20~17:35

会場：中村学園大学

(福岡市城南区別府5丁目7番1号)

■基調講演

「知の先端からの発想の転換」――自然に知恵を求める

(北九州産業学術推進機構 理事長(北九州市立大学 元副学長) 国武 豊喜)

■講演Ⅰ

「栄養免疫学と食育推進への取り組み」

――Prevention of the Double Burden of Malnutrition

低栄養と免疫・過剰栄養の疾病予防を見つめた研究の軌跡――

和洋女子大学 学長 坂本 元子

■講演Ⅱ

「韓国における学校給食と薬膳教育」

韓国明知大学校 教授 曹 貞淳

■講演Ⅲ

「中医学からみた健康増進と薬膳の利点」

上海中医薬大学 教授 朱 根勝

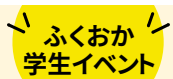
司会 中村学園大学 教授 吉岡 慶子

中村学園大学 教授 三成 由美

後援／福岡県教育委員会、福岡市教育委員会

「」をテーマに開催され、日本を中心に中国、韓国の研究者を交えて21世紀の食は如何にあるべきかについて講演

がなされ、一般市民も含む熱心な参加者で会場が埋め尽くされました。



学生が福岡のためにできること 好いとうよ FUKUOKA2010に参加

9月25日(土)、26日(日)に福岡市役所前ふれあい広場で、「ふくおか学生イベント 学生が福岡のためにできること 好いとうよFUKUOKA2010」が開催されました。

このイベントは、約120名の福岡市内の学生実行委員が中心となり企画が考えられ、本学の学生は25名が参加しました。「福岡が学生の街であることをアピールすることで福岡市を盛り上げられたら」と、副実行委員長の園田真也さん(流通科学部3年)。

ライブなどのステージイベントに加え、地場企業(主に食品関連)のブースが並ぶなか、中村学園大学学園祭実行委員会ステージによるタコス、また、実際に生産現場に向いて手に入れた豚肉を使った揚げライスなどの屋台にはたくさんの方が訪れていました。こうした福岡の食品や農産物を一般に知ってもらうのも目的のひとつ。

また、破棄されるチラシを使い、10万羽の折鶴をつなげギネスにも挑戦。学生の若さと活気あふれるイベントでした。



第37回公開講座 開催

今年で37回目となる公開講座が開催されました。公開講座は、地域との共生という観点から、市民の方々に本学の教育・研究の成果を還元し、交流を深める目的で開催されており、当日は多くの受講者で会場が埋まりました。



プログラム

■ Aコース 10月2日

「暮らしに活かす食の知識と話し方の知恵」

開講式 学長 藤本 淳

短期大学部キャリア開発学科 准教授 本山 和子

『あなたの話は伝わっていますか？』

ーコミュニケーションの阻害要因、促進要素ー』

流通科学部 教授 甲斐 諭

『食の国際化と地産地消』

■ Bコース 10月9日

「揺れる食の世界Ⅲ」

栄養科学部 准教授 岩本 昌子

『「油」と「脂」と私たちの食事』

短期大学部食物栄養学科 講師 吉田 弘子

『「食事バランスガイド」の活用と献立の工夫』

■ Cコース 10月16日

「シニア世代の新教養」

人間発達学部 教授 昇地 勝人

『こころとからだの活性化』

ーリラクセーションの体験ー』

人間発達学部 教授 福田 伸光

『音楽の世界あれこれ』

ーピアノでクラシック音楽を楽しむー』

閉講式 公開講座委員長 古相 正美



ハラスメントに関する研修会

平成22年9月7日、西2号館4階2405講義室において、教職員を対象とした「ハラスメントに関する研修会」が行われました。

講師として、NPO法人うめづメンタルケアセンター カウンセラーの安部猛先生をお招きし、「ハラスメントの加害者とならないために」をテーマにご講演いただきました。

安部先生は、ハラスメントの定義について詳しく説明され、「相手を一人の人間としてきちんとみた対応をしているかが、一番のポイントです。」と強調されました。また、自分自身が無自覚のままにハラスメントの加害者に

なる可能性があるため、一人ひとりが日常的に気をつける必要があるとして、ハラスメントの実例にもとづき、その背景や被害者のところを考えることの大切さについても説明されました。活発な質疑応答も行われ、とても充実した研修会となりました。



メンタルヘルス研修会

平成22年9月7日、西2号館4階2405講義室において、衛生委員会主催による教職員を対象とした「メンタルヘルス研修会」が行われました。

本学の産業医（森山耕成教授）から、衛生委員会や産業医の役割、職場におけるメンタルヘルス対策等についてDVDの上映を交えて説明がありました。メンタルヘルス不調者を出さないためには、何より予防や早期発見が大切とされ、組織としてのメンタルヘルス

問題への取り組みや個人への介入のルール作り等、職場における環境の整備が望まれるとされました。

また「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」が紹介され、全教職員が受診し、各自の健康管理に活用することとなりました。

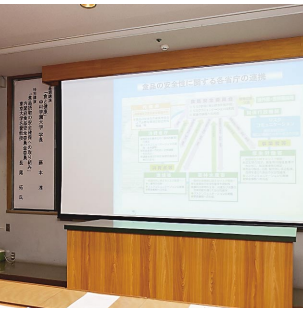


第2回

ふくおか教育フォーラム 開催

平成22年10月8日、福岡市の福岡歯科大学において、第2回ふくおか教育フォーラムが開催されました。地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会※の活動の一環として実施され、多くの参加者が会場に集まりました（※福岡大学・福岡歯科大学・中村学園大学による連携事業）。

当日は左記の内容にて、内閣府食品安全委員会委員で東京大学名誉教授の長尾拓氏による特別講演が行われるなど、充実したフォーラムとなりました。



プログラム

開会挨拶

福岡歯科大学 学長 北村 憲司

基調講演

「食と健康」

中村学園大学 学長 藤本 淳

特別講演

「食品摂取の安全確保への取り組み」

内閣府食品安全委員会委員 東京大学名誉教授 長尾 拓氏

閉会挨拶

福岡大学 副学長 瓦林 達比古



福岡歯科大学
北村憲司 学長



中村学園大学
藤本 淳 学長



内閣府食品安全
委員会委員
長尾 拓氏



福岡大学
瓦林達比古 副学長

指導主任研修会 開催

平成22年9月8日、本学西2号館において「平成22年度指導主任研修会」が行われました。

研修会ではまず、中村量一理事長から、講話がありました。「建学の精神」と教育・経営のビジョンについて、社会情勢と教育との関わりや、日本の高等教育の現状を踏まえ、本学の課題と将来の方向性が示されました。

つづいて、幼児保育学科の吉川昌子准教授から「発達障がい学生の理解と支援」をテーマに講演が行われました。講演では、発達障がいの定義や内容（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥・

多動性障がい、学習障がい、他と、その特徴について詳しく説明がありました。学習面、行動面における傾向や特徴はさまざまですが、障がいに対する周囲の正しい理解により障がいを持つ学生の生活上の問題を軽減することができます。しかし、周囲の支援が得られない場合には、二次障がいを引き起こす可能性もあり、誤解を招いたり、抑うつ、パニック、ひきこもり、休学などの状況になりかねないそうです。講演では、学内で実施された「発達障がいのある学生に関するアンケート調査」の結果が報告され、改めて、今後の学生支援の重要性を認識することができた研修会になりました。



中村量一 理事長



吉川昌子 准教授

付属幼稚園 園長だより



教育ってなんだろう

沓岐幼稚園 園長
久富さよ子

「おはよう」「おはようございます」沓岐幼稚園の朝は、先生と子どもたちの賑やかで可愛い声のごあいさつで始まります。なかにはお母さんと離れがたく、泣いてしまう子どももいます。4月当初、よく見られた光景です。そんな子どもたちも次第に幼稚園の面白さに気付き、自分で小さな楽しみを見つけ始めます。そして泣いてばかりの自分をどこかに置いてくるのでしょうか…。こんなこともありました。園長室に3歳児のB君がすごい勢いで飛び込んできました。「ほら先生、僕今日は泣かないで来たよ」目をキラキラさせて笑顔でまっすぐ見つめるB君に、思わず胸が熱くなりました。

園で子どもたちと長い時間を共に過ごす、いつの間にか立ち止まったり、引き込まれたり、心を揺さぶられたり、そんな場面に遭遇します。ある日、こんな光景に私はしばし見入っていました。それは花壇の一部を利用して、年長全員と先生たちが裸足で手作りの田んぼを作っていたのです。皆一生懸命です。脇目もふらず土を掘り、その土を一輪車に乗せ、運び出しました。作業は実に手際よく行われ、掘った大きな穴の底にビニールを敷き、水を溜め、もう一度土を入れ、苗を植えました。手作りの水田が完成したのです。

また、年長全員が先生たちと園庭で「鬼ごっこ」をしていました。園庭全部をちびっ子鬼共は走り回っています。先生も逃げる方、捕まえる方に分かれ必死です。年長さんともなると、その速さは大人顔負けです。子どもたちの賑やかな声は、雲を突き抜け天まで響いているようでした。

教育という言葉の前に、とかく私たちは身構えてしまいがちです。しかし、園で日常みられる保育者の本気の行動や仲間の真剣な姿に触れつつ、子どもたちは自らも新たな一歩を踏み出そうとするのではないのでしょうか。「子どもは教えたようにはしない、見たようにする」という禅の言葉があるそうですが、まずは子どもの側に居る私たち大人が、親や教師の日々の言動こそが、何にも勝る教育力そのものであることを、折にふれ痛切に感じる次第です。



9月28日に行われた祝賀会には多くの関係者が集まり、高島さんはじめ陸上部の健闘を讃えました。

平成22年7月30日、沖縄県で開催された全国高校総体（インターハイ）の陸上女子走り高跳び競技で、中村学園女子高校3年の高島柚佳さんが、見事優勝の栄冠を勝ち取りました（記録は1メートル74で、今大会県勢初の優勝）。

なお、同じく中村学園女子高校2年の村上佑琳さんが9位に入りました（記録は1メートル68）。

中村学園女子高校の 高島さんが優勝 ～全国高校総体走り高跳び～

10月16日に開催された祝賀会では、保護者や多数の関係者がヨット部の栄誉を讃えました。



2人乗り同級ソロの総合得点で順位が決まるデュエット競技ですが、ソロで徳重樹さん（3年）山田剛士さん（2年）組のCチームが優勝（2年ぶり5度目）、Aチームが2位、Bチームが5位と健闘し、デュエット優勝の栄冠に輝きました。

平成22年8月10日、中村学園三陽高校が、沖縄県で開催された全国高校総体（インターハイ）セーリングFJ級男子団体（デュエット）で3年ぶり6度目の優勝を飾りました。

中村学園三陽高校が優勝 ～全国高校総体セーリング～

オープンキャンパス 2010開催

平成22年8月7日、21日の両日、大学および短期大学部において、「オープンキャンパス2010」を開催しました。大変暑いなか、2日間で4、711名の受験生・保護者の方々が来場され、無事終えることができました。教員による入試相談コーナー、在学生による学生生活相談コーナーをはじめ、模擬授業、推薦入試対策講座、クラブ・サークル紹介など、学部・学科や入試の内容がよく分かるイベントが催され、参加者からは「充実した時間が過ごせました」「中村の特徴がよくわかる内容でした」との声が聞かれました。

平成23年3月19日には春のオープンキャンパスを開催します。



第17回
教育ワークショップ開催

平成22年9月8日、本学西2号館において、「第17回教育ワークショップ」が以下の内容で行われました。このワークショップは、毎年、本学の教職員を対象に開催され、組織的なFD（ファカルティ・ディベロップメント）の推進を図るための取り組みの一つです。

今年のテーマは『各学部・学科における「授業の工夫」』で、藤本学長の開会の挨拶に始まり、各学部・学科から提言がなされました。提言では授業改善への様々な取り組み、課題、今後の展望が報告され、さらなる教育内容の充実と教員の資質向上への意欲が語られました。

また、総合討論では活発な意見交換が行われ、教職員のFD推進への熱意があらわれるワークショップになりました。

司会・進行 流通科学部 FD 推進委員 浅岡 柚美

1. 開会の挨拶	学長 藤本 淳
2. 各学部・学科からの発表	
1) 短期大学部食物栄養学科 食物栄養学科における「授業の工夫」	講師 内田 和宏
2) 短期大学部キャリア開発学科 「大教室授業」／チームティーチングを効果的・効果的にする小ネタ集	准教授 岩田 京子
3) 短期大学部幼児保育学科 幼児保育学科における授業の工夫	助手 花隈 悦子
4) 栄養科学部 ゆとり教育世代の大学生－実態から見えてくるもの工夫すべきこと	講師 川俣 沙織
5) 流通科学部 流通科学部における大学基礎講座の取り組みについて	教授 原 孝之
6) 人間発達学部 改組を見すえた実習指導の工夫－実習園と学部および幼保実習間の連携を中心に－	准教授 福沢 健
3. 総合討論	
4. 閉会の挨拶	講師 石黒万里子 講師 野上 俊一 講師 山田 朋子
	F D 推進委員会委員長 教授 藤田 守



研究助成・受託研究

栄養科学に基づく乳がんおよび大腸がん予防の基盤形成



中野修治教授

【研究代表者】 中野修治 教授
(大学・栄養科学部)

【研究分担者】 今井克己 教授 太田英明 教授
津田博子 教授 森山耕成 教授
岩本昌子 准教授 森口里利子 講師
宮崎 瞳 助教 小野美咲 常勤助手
(大学・栄養科学部)

【助成団体】 文部科学省
【助成金名称】 平成22年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
【助成金額】 4,250万円

肥満における乳癌、大腸癌の発症機序の研究

【研究代表者】 中野修治 教授 (大学・栄養科学部)
【研究分担者】 森山耕成 教授 宮崎 瞳 助教
小野美咲 常勤助手 (大学・栄養科学部)
【助成団体】 日本私立学校振興・共済事業団
【助成金名称】 私立学術研究振興資金
【助成金額】 750万円

アジア国際薬膳公開講座

【研究代表者】 三成由美 教授
(大学・栄養科学部)
【助成団体】 財団法人江頭ホスピタリティ
事業振興財団
【助成金名称】 平成22年度研修会等開催事業
に対する助成金
【助成金額】 20万円



三成由美教授

健康に寄与する薬膳メニューの開発及びその普及活動

【受入先】 薬膳科学研究所 (内山文昭所長)
【研究代表者】 三成由美 教授 (大学・栄養科学部)
【助成団体】 西部ガス株式会社
【助成金名称】 平成22年度研究助成寄付金
【助成金額】 150万円

高純度グルコマンナンを含むこんにゃく精粉がヒトの糖質代謝に与える影響

【研究者】 吉田弘子 講師
(短期大学部・食物栄養学科)
【助成団体】 株式会社久留米リサーチ・パーク
【助成金名称】 福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業
【助成金額】 105万円



吉田弘子講師

こんにゃくの主成分であるグルコマンナンは、食後血糖値および血清脂質濃度の抑制、有害物質の排泄促進、便秘解消など様々な栄養生理効果が知られています。本研究では、機能性を持つ新たな食品の開発を目的とし、高純度グルコマンナンがヒトの糖質代謝に与える影響について検討を行います。

宮崎県口蹄疫被害への 義援金募金

中村学園大学
の合同職員会で
は平成22年7月
7日から7月26



日にかけて、宮崎県口蹄疫被害への義援金募金活動を行いました。教職員から集まった募金は、「宮崎県口蹄疫被害義援金」として、宮崎県共同募金会に寄付されました。一日も早い復興をお祈りしています。

西部地区五大学 共同開講授業科目 「博多学」開講

九州大学、西南学院大学、福岡大学、福岡歯科大学、中村学園大学（西部地区五大学連携懇話会・平成18年発足）は、博多を「自然」「歴史」「文化」の面から考察する共同開講授業科目「博多学」を開講しました。共同開講は平成22年度が初めての取り組みで、



1単位を取得でき、5大学で計90名の学生が履修しています。8月19日に九州大学西新プラザ（福岡市早良区）で行われた「博多の郷土料理と食文化」では、中村学園大学短期大学部食物栄養学科の松隈教授による、博多の郷土料理の歴史や特徴などの講義が行われました。



教員の表彰

日本産業科学学会 優秀賞



片山 富弘 教授

平成22年7月、片山富弘教授（大学・流通科学部）が日本産業科

学学会優秀賞を受賞しました。これは自身の著書「顧客満足対応のマーケティング戦略」（五紘舎）の、顧客満足に関する新たな視点や事例が評価の対象となり、受賞に至りました。本書は、顧客満足を中心にマーケティング戦略について論じており、理論編ではマーケティング戦略のフレームワークを示し顧客満足に関する考察を行い、顧客満足の展開を試みています。また実際編では、顧客満足についての空間

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月



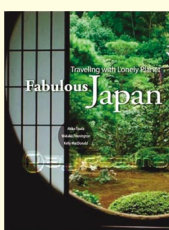
「小学校外国語活動のための校内研修パーフェクトガイドブック」

田村 知子
大学・栄養科学部・講師 共著
(教育開発研究所 平成22年7月)



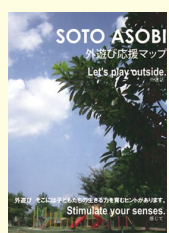
「食品学実験」

橋本俊二郎
短期大学部・食物栄養学科・教授 編著
太田 千穂
大学・栄養科学部・助教 共著
(講談社 平成22年9月)



「英語で読む日本の魅力 Fabulous Japan」

津田 晶子
短期大学部・食物栄養学科・講師 共著
(センゲージラーニング 平成22年9月)



「SOTO ASOBI 外遊び応援マップ」

中村学園大学付属あさひ幼稚園
園長 那須信樹
(短期大学部・幼児保育学科・准教授)
主任教諭 山本美香
教諭 河野裕美 福岡理恵
秀平花子 二分裕美
志水陽子 中村麻衣 共著
(福岡市城南区保健福祉センター子育て支援課 平成22年8月)

教職員の動き

採用人事

（平成22年9月1日付）

講師（大学流通科学部）

（平成22年10月1日付）

教務課係長

後藤 恵美
豊増 健治



の広がり、イノベーションの度合い、業界のライフサイクルからの観点による事例を取り上げています。

第44回 霜月祭 11/4(木)～11/6(土)

今年のテーマ
「稔」～N style～
「稔」には、学園祭実行委員717人、一人ひとりの力、中村の学生、先生方、地域の方々、来客者、すべての人々が関わることで盛りある学園祭を作り上げたいという思い、「～N style～」にはNakamura.Newという意味が込められています。

11/4
オススメ!
NAKAっていいとも!
(12:00～14:00 in 体育館)
今年の企画、NAKAっていいとも! 参加者も、観客も1つになって楽しめる企画です。みんな、来てくれるかな? [いいともー!!]

イベント日程

日	時間
11/4 Thu	10:00～18:30
11/5 Fri	10:00～18:30
11/6 Sat	10:00～18:30

B級グルメ
素材や作り方にこだわった味はスペシャル級♥
値段はお手頃!!
ぜひ、食べてみて下さい♥

11/5
オススメ!
BEST ♥ NAKAアップル!
(13:30～14:30 in グランドステージ)
今年もやってきました! 毎年大好評のBEST NAKAアップル。学園内のカップルが今年もアツアツラブな思いを繰り広げます。ベストカップルとなるのはどのカップルか……ぜひともご覧あれ～!

チャリティ
エコキャップ
キャップを集めて発展途上国の子ども達にワクチンを贈りましょう!
チャリティバザー
バザーの収益金は地域の方々へ日ごろの感謝の気持ちを込めて城南区社会福祉協会へ、世界の子ども達のためにイブ・ザ・チルドレンへ寄付します! いろんな愛り出し物を探しに来て下さい!!

11/6
オススメ!
三浦 翔平
Talk Show
13:00 / 開 場
14:00 / 開 演
in 体育館

8大学合同スタンプラリー
豪華賞品盛りだくさん!
8大学制覇しよう♪
■福岡大学 ■九州産業大学 ■福岡女学院大学
■福岡女子大学 ■筑紫学院大学
■西南学院大学 ■福岡工業大学
■中村学園大学

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封の上、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。
※保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係